

令和6年度福島県サンパイ業界の自己紹介事業企画運営業務仕様書（案）

1 委託業務名

令和6年度福島県サンパイ業界の自己紹介事業（以下「本事業」という。）企画運営業務（以下「本業務」という。）

2 業務概要

本事業は、福島県内の産業廃棄物処理業界（以下「産廃業界」という。）振興のために必要な産廃業界のイメージアップを図ることを目的に、共通のコンセプトのもと、次の(1)から(8)の取組（以下「各取組」という。）を実施する。

なお、各取組を有機的に結びつけて実施することによる相互作用を最大限発揮し、本事業の目的をより効果的かつ効率的に達成できるように運営するものとする。

さらに、各取組への参加等を促すため、県民における産廃業界への関心度が低いことを踏まえた戦略的な広報等を行うものとする。

—【各取組に共通のコンセプト】—

『サンパイ業界の自己紹介』

福島県内には4,000以上もの産業廃棄物処理業者（以下「産廃業者」という。）が存在し、産業廃棄物の収集運搬、処分等を通して県民の生活や経済の安定に尽力している。しかしながら、このような産廃業者の社会的役割について、広く認知されているとはいえず、また、県民における産廃業者の取組に対する一般的な認識は、「不安を感じている」、または、「関心がない」という状況である。

本事業では、産廃業者にスポットをあて、県民の生活や経済を支えている産廃業者の役割を広く紹介することで、「不安を感じるから」や「分からないから」という理由で産廃業者と距離をおいている県民との関係性を構築する。

(1) 各取組の考え方等

- ・ 各取組間の有機的な繋がりによる相互作用を活かす。
- ・ 各取組間の有機的な繋がりによる相互作用を意識した業務実施体制及び事業実施スケジュールを構築する。

(2) ポータルサイト企画・制作・運営

ア 実施時期（想定）

令和6年6月から運営開始

イ 内容

- ・ 福島県内の産業廃棄物に関する情報ポータルサイトとして制作する。
- ・ 産廃業界に対する不安を払拭することを主な目的とした内容の構成とする。
- ・ 令和7年度以降においても継続して本サイトを運営することを前提とする。
- ・ 本事業における各取組に関する開催告知、参加者募集、実施報告等について、本サイトを活用して行う。

ウ ターゲット層

全ての層

(3) ワークショップ企画・運営

ア 実施時期（想定）

令和6年7月から9月まで

イ 内容

- ・ 産廃業者が自らの業務の役割についての県民理解を得るための情報発信手法（主

に対面でのプレゼンテーション手法)を習得するためのワークショップを開催する。

- ・ プレゼンテーション資料の作成方法、プレゼンテーション手法(話し方、立ち居振る舞い等)等について、効果的な手法を多角的に習得する。
- ・ 情報発信手法の習得を効果的に行うため、ワークショップは複数回(4回程度を想定)に分けて開催する。
- ・ 本ワークショップにおける成果は、(2)、(4)及び(6)の各取組において発表するとともに、本事業以外における様々な場面での活用について考慮する。

ウ 対象者

産廃業者 14 名程度(若手経営者を想定)

(4) 集客イベント企画・運営

ア 実施時期(想定)

令和6年10月

イ 会場(想定)

郡山市内会場

ウ 内容

- ・ 県民が産廃業界に対する関心を持つきっかけとするためのイベントを開催する。
- ・ 県民における産廃業界への関心度が低いことを踏まえた、戦略的な開催告知、実施内容の企画、イベント運営等を行う。
- ・ 主なターゲットは、小学校児童とし、一緒に来場する家族への訴求についても併せて考慮する。
- ・ 実施内容は、ステージイベント(ステージショー、パネルディスカッション、トークセッション等を想定)、産廃業者によるブース出展、体験コーナー、飲食ブース等を想定しており、より多くの来場者を確保するための戦略について考慮する。
- ・ 関心度の高いSDGsと産業廃棄物処理を関連付けた実施内容を企画する。
- ・ (3)のワークショップの参加者によるプレゼンテーション大会を実施する。
- ・ 来場者数は3,500人を目標とする。

エ ターゲット層

産廃業界への関心度が低い層(小学校児童及びその家族を想定)

(5) バスツアー企画・運営

ア 実施時期(想定)

令和6年11月

イ 訪問先

県内の産業廃棄物処理場

ウ 内容

- ・ 県内の産業廃棄物処理場を巡るバスツアーを開催する。
- ・ 訪問先は、県内の収集運搬業者事業場、中間処理施設(再生処理施設)及び最終処分場を想定しており、参加者に産廃処理の流れを実感させることを目的とする。
- ・ 中間処理施設(再生処理施設)では、産廃処理が循環型社会形成に重要な役割を担っていることを伝える。
- ・ 最終処分場には、再資源化されないものが埋め立てられるが、その容量には限りがあることから、3Rが重要であることについて伝える。
- ・ 廃棄物処理法において、産業廃棄物が適正に処理される仕組みが整備されていることを伝える。
- ・ 実施回数は3回程度を想定しており、1回あたりの参加者数は40名程度を想定している。

エ ターゲット層

産廃業界への関心度が低い層(小学校児童及びその家族を想定)

(6) リーフレット企画・制作

ア 配付時期

令和7年2月

※ (2)のポータルサイトに掲載し、県内小学校に活用について通知する時期

イ 内容

- ・ 県内小学校における学習用教材として制作するものとし、媒体は電子ブックを想定している。
- ・ 産廃処理の概要を説明するとともに、その必要性を伝える内容とする。
- ・ 単に情報を掲載するものではなく、探求的な学習に繋がるように意識した内容の構成とする。

ウ ターゲット層

県内小学校児童（高学年）

(7) 開催告知・参加者募集

- ・ 産廃処理に対する関心度が低い現状を踏まえ、(2)のポータルサイト、各種 SNS、テレビ CM、チラシ、ポスター等各種媒体を活用し、単に開催告知等を行うだけではなく、より多くの参加者を得るための仕掛けを告知に組み入れる等により、効率的かつ効果的な手法を採用した開催告知等の広報を戦略的に行う。
- ・ (2)から(6)の各取組の有機的な結び付きを意識した広報を行う。

(8) その他取組

- ・ (1)から(7)までの他、本事業の目的を達成するための取組を実施する。

3 提案内容

次の(1)から(8)について、本事業の目的を達成するために実施する内容を提案すること。
なお、提案内容は、(8)アの業務経費積算の金額の範囲内で実現できるものとする。

(1) 各取組の考え方等

ア 各取組間の有機的な繋がりにより期待できる相互作用

イ 業務実施体制

ウ 事業実施スケジュール

(2) ポータルサイト企画・制作・運営

ア テーマ（30字以内で提案）

イ 掲載する内容及びサイトマップ

ウ トップページでのビジュアルイメージ

エ サイトの管理・運営方法（令和7年度以降の継続運営を前提として提案）

オ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

(3) ワークショップ企画・運営

ア テーマ（30字以内で提案）

イ 運営体制（講師、ゲスト、事務局人員体制等を提案）

ウ 実施回数及び実施回毎の実施内容

エ 集客イベントでのプレゼン大会内容

オ 本事業の終了後における参加者の活躍の場（想定を提案）

カ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

(4) 集客イベント企画・運営

ア テーマ（30字以内で提案）

- イ 会場
- ウ 実施内容（ステージイベント及びその他）
- エ より多くの来場者を確保するための戦略
- オ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

(5) バスツアー企画・運営

- ア テーマ（30 字以内で提案）
- イ 訪問先の選定基準及び選定方法
- ウ 実施回数及び実施回毎の内容
- エ 参加を促すための仕掛け
- エ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

(6) リーフレット企画・制作

- ア テーマ（30 字以内で提案）
- イ 掲載する内容及びページ構成
- ウ ビジュアルイメージ
- エ 小学校での学習用教材として展開させるための仕掛け
- オ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

(7) 開催告知・参加者募集

- ア ワークショップ参加者の募集（選定）方法
- イ 集客イベントの目標来場者数を達成するために実施する広報戦略
- ウ バスツアー参加者の募集（選定）方法
- エ 本事業における各取組を有機的に結び付けるために実施する広報戦略
- オ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

(8) その他

- ア 業務経費積算
- イ 類似業務受託実績
- ウ その他、本事業の目的を達成するために有効な事項

4 提出書類

- (1) 業務着手報告書（様式第 1 号）
- (2) 業務完了報告書（様式第 2 号）
- (3) 成果品
成果報告書（任意様式で紙及び電子媒体で提出）